

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

平成30年度 指定管理業務 事業評価書

施 設 名	幸手市立武道館
施 設 所 管 課	幸手市教育委員会 教育部 社会教育課 (内線644)
指 定 管 理 者 名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指 定 期 間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (5年目)

評価項目		評価基準	自 己 評 価	所管課 評 価
I 履 行 の 確 認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点／満点)	75 100	75 100

総括	指定管理者の自己評価	本年度も武道を通して子ども達の健全な精神の育成に寄与することを目指し無料参加の武道体験教室と幸手市武道連絡協議会様との共催で第12回幸手市武道館まつりを開催しました。初心者向け武道教室、健康教室は全7種を開催し延べ146名のお客さまに参加いただきました。また、利用者数は対前年比で8人増(100%)、利用件数は対前年比で274件増(110.1%)、インターネットからの申し込み件数は対前年比で807件増(113.7%)の結果となり、本年度も施設の設置目的達成に向けて着実な運営が行なえたものと考えています。収入面では利用料金、自主事業収入、その他収入、全ての項目で計画を上回りましたが、支出面でも人件費、光熱水費、消耗品、その他支出が増加したことにより、収支はマイナス337,341円という結果になりましたが、お客さまに快適に、楽しく、親しみを持って施設をご利用いただくことが叶った1年であったと考えています。
	施設所管課の評価	協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。 利用状況については、人数、件数、利用料とも前年度を上回っている。また、インターネットでの予約が年々増加しておりこの点の整備は評価できる。 施設の経年劣化により修繕箇所も多くなる中、必要に応じて適切に修繕を実施している。今後も修繕箇所が多くなると思われるので、利用者の立場に立った対応を進めてもらいたい。 各種自主事業の実施においても、利用団体と協力しながら企画運営し、良好な関係を維持している。利用者との日常の対話を日報等の記録に残しており、利用者の声に丁寧に対応している点も評価できる。

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)